

「いかに技能・技術を後進に伝えるか」

～「暗黙知」の観点での実践報告例と各科横断的な情報共有の呼びかけ～

新医協の各部会の会員の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

医療に携わるどの分野でも、次世代を担う若手にベテランが自分のノウハウを伝授・継承することは共通の重要課題でしょう。この問題に対して「暗黙知」という概念を応用して、ベテランの手技をわかりやすく初学者が再現できる手法が産業界で確立されています。

歯科領域会員の松下先生はこの方面の専門のインストラクターを招聘して、自らの臨床手技を解析してもらい、歯科領域で触診の領域まで踏み込んだマニュアル作成を試みています。今回松下先生の取り組みをご紹介します。この手法を医療領域全般に应用することが次世代の育成、医療界全体のスキルアップに貢献する可能性が大きいことを皆さんに確認していただきます。

また鍼灸部会は30年以上続けてきた「鍼灸臨床講座」にて、いかに触診技術、治療技術を伝承するかを研究してきました。今までどのような工夫をしてきたかをご紹介します。

同時にこれまでの皆さんの技能伝承の試みを情報共有し、「暗黙知」解析の取り組みと併せて、技能継承の問題に大きな進歩を医療界に我々がもたらして参りましょう。

記

日時：2018年4月22日（日） 17：00～19：00

場所：大森鷲神社内 おおとり会館 （大田区大森北 1-15-12 / 最寄り駅：JR 大森駅東口徒歩5分）

参加費：無料（新医協会員に限る）